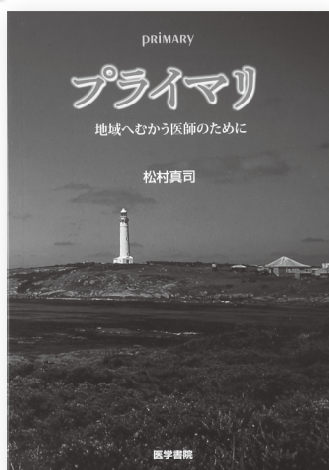


今月の特集関連本 ①



プライマリ

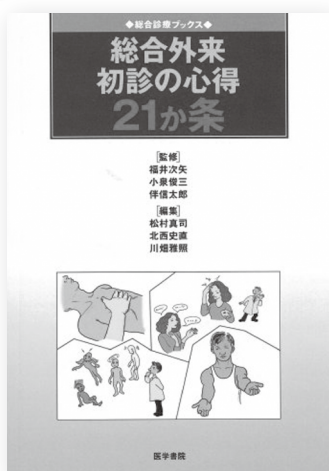
地域へむかう医師のために

松村真司＝著

本体 2,200 円＋税／208 頁／医学書院／2008

本特集の企画者、松村真司先生の知人ぞ知る名著。日々の診療にやりがいを感じられなくなった時に、ぜひ読んでほしい。プライマリ・ケアの道で迷った時の“灯台”みたいな本。元気出てきます。

「家庭医」「プライマリ・ケア」「総合医」「地域診療」「かかりつけ医」、新しい言葉は数あれど、日本にはいつだって“赤ひげ”がいた。総合医時代の到来を控え、日本のジェネラリスト黎明期を模索してきた俊英も不惑を過ぎ、その積もる思いを遂に吐露するときが来た。若手じゃなくなってゆく世代に“普通であり続ける”ことを語る畢生の1冊。



〈総合診療ボックス〉

総合外来 初診の心得 21 か条

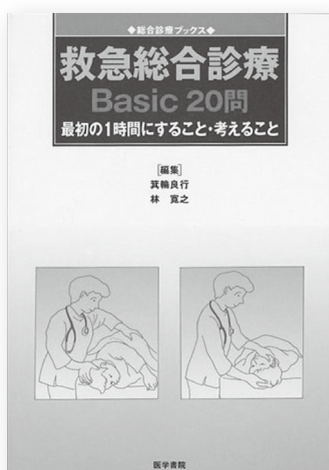
福井次矢、小泉俊三、伴 信太郎＝監修

松村真司、北西史直、川畑雅照＝編集

本体 4,000 円＋税／320 頁／医学書院／2002

本特集の座談会ご出席者がそろい踏み。巻末資料として、福井次矢先生の筆による「総合診療研究会」設立趣意書（1993年）も収載。「総合診療」の原点に返るのに、もってこいの1冊。いつの時代も変わらぬ「初診」の心得が、プラクティカルに解説されています。

病院や診療所の外来担当医、研修医、高学年医学生に向けて、さまざまな訴えや問題を抱えて訪れる患者に対応する総合外来での初診の心得を21か条にまとめた。初診という時間軸を強調し、面接、診察から初期診療の進め方、さらにコンサルトのしかたまでの要点を実践的に解説。



〈総合診療ボックス〉

救急総合診療 Basic 20 問

最初の1時間にすること・考えること

箕輪良行、林 寛之＝編

本体 4,000 円＋税／244 頁／医学書院／2000

座談会③でジェネラリスト育成の鍵として語られた「救急総合診療」について、箕輪良行先生らがまとめた本。上級編として『救急総合診療 Advanced Course 21』（2003）もあり。

救急初期診療の基本的なテーマを平易に解説する。前半では急性症状を主訴とする患者に最初にすべきこと、中等症へのきめ細かい診療のポイントを示す。後半では外傷への基本的な対応を解説し、全体として救急の初期対応のガイドブックを提供。また救急救命士にも役立つ情報を提供する。